

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [生涯学習](#) | [歴史雑学](#) 3. 侍が頭を青々と剃っていたわけは？
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

歴史雑学 3. 侍が頭を青々と剃っていたわけは？

昔の武士は、鬘を結う場合、頭のテッペンを青々と剃っていました。俗に言う月代（さかやき）と称する部分です。

いかにも清潔そうな印象ですが、そういうおしゃれのために剃っているわけではありません。実はあの月代、「いざ、鎌倉」となればいつでも出陣するぞ、という武士の心構えなのです。

ご存じのように、戦国時代の武士たちは、敵と戦うときには、鎧兜に身を固めていました。しかし、あの兜、いかにも重そうだと思いますか。それに風通しも悪そうです。夏の暑い時などはどうしていたのかと、いらぬ心配もしてしまいます。その心配は、たしかに彼ら武士にとっても頭痛の種だったようです。そこで考えられたのが、髪前方を剃ることだったのです。こうすれば、頭も蒸れませんし、いくらかでも涼しくなります。

その習慣が天下泰平の時代に入っても続いたのは、武士の心意気としては当然のことだったからでしょう。つまり、いったん事があれば、いつでも出陣するという忠義を、月代を常に剃ることで示したわけです。

このように、月代を剃るということは、主君に仕える侍だけのものでした。主君の祿から離れた浪人の多くは、総髪にしていました。そういう意味では、自分を浪人たちと区別したいという、エリート意識の現われとも言えなくもありません。しかし、月代、なかなか評判がよく、町人の間にも次第に広まっていったというわけです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.